南山大学 人間関係研究センター秋の公開講演会 (無料)

## グループダイナミクス研究の実践的展開

## 一人間関係を基盤とした自己実現をめざして一

2007年9月12日(水)18:00~20:00

南山大学 名古屋キャンパス D棟(通訳付)

学校でも会社でも、人は周囲の人たちと様々な関係を作りながら、自らの課題に取り組んでいますが、このとき、自らの課題遂行に相手の存在がプラスになる場合とマイナスになる場合があります。そして、互いに自らの課題遂行にプラスの存在であるような関係を作ることは、課題に即した生産性の向上だけでなく、心理的に健康な状態を維持し、より良い対人関係の発展にも役立ちます。協同学習というのは、学習場面においてそのような人間関係をつくるための理論と技法です。

今回の講演では、クルト・レビンを源泉とするグループダイナミクス研究の中でも、特に、 Social Interdependence Theory (社会的相互依存性理論) と呼ばれる理論に基づく協同学習が どのように構想され、実践的展開をしてきたのかを解説していただく予定です。

講 師:ミネソタ大学教授 ミネソタ大学協同学習センター長 デービッド・W・ジョンソン氏



米国インディアナ州生まれ。コロンビア大学で博士号を得た後、ミネソタ大学で長年、人間関係論および小集団学習の分野で、さまざまな対人的紛争解決の方途を探り、よりよい人間関係づくりを目指す研究に尽力。過去35年間の経歴には、マネージメント研修、ティーム・ビルディング、民族関係問題、葛藤解決、対人スキルトレーニングなどを学校や企業へと提供する、組織コンサルタントとしての活動も含まれている。現在は、同大学教授ならびに協同学習センターを中心として、実兄のロジャー・ジョンソン教授とともに協同学習のインストラクター養成や教員向けワークショップなどで活躍。企業内の人間関係コンサルティングのために、Tグループのトレーナーとして来日されたこともある。著作としては、邦訳されている『学習の輪』(二瓶社)や『学生参加型の大学授業』(玉川大学出版)の他に、大学テキストとして版を重ねている『Reaching Out: Interpersonal Effectiveness and Self-Actualization』や『Joining Together: Group Theory and Group Skills』など、R.ジョンソン氏との共著を含む40冊以上が公刊されている。

協賛:南山大学エクステンションカレッジ

~ 参加費は無料となっておりますが、準備の都合上、ご参加の場合は下記までご連絡下さい。~ 南山大学 人間関係研究センター 〒466-8673 名古屋市昭和区山里町 18

TEL: 052-832-5002 • E-mail: ninkan-c@nanzan-u.ac.jp

FAX: 052-832-3202 • Homepage: http://www.nanzan-u.ac.jp/NINKAN/

※ Fax、E-mail の場合は「氏名」、「参加人数」、「連絡先 (E-mail 又は電話番号)」をお知らせください。

【個人情報について】 今回ご提供いただきます個人情報は、南山大学個人情報保護に関する規程に基づき、適正な利用と保護および必要な安全措置を講じて参ります。 1. 講演会に必要な事務連絡、 2. 今後の本学公開講座ご案内 (パンフレット送付等)、 3. 当日受付簿作成以外の目的には使用いたしません。